

(別紙4(2))

事業所名 アメニティホーム塩釜

## 目標達成計画

作成日: 令和 元年 11月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	民生委員やいきいき支援センターの職員との交流は増えているが近隣住民との交流がまだ少ない	運営推進会議や施設でのイベントなど気軽に立ち寄れる環境作りをしていく	地域のコミュニティや催しに参加したり認知症カフェなども検討していく	12ヶ月
2	7	虐待はあってはならない事だが世間ニュースなどで耳にすることはしばしある。今までも当施設ではないがこれからはしっかりと努めていかなければならない	身体拘束ゼロ・虐待ゼロを継続していく	職員全員に研修を行ないしっかり学んでもらう 事前に防止できるように日頃からひとりひとり職員とコミュニケーションを取りケアにも取り組んでいく	常時
3	26	チームケアを目指しケアプランなど立てるが、個人プレーによる介助になってしまう事もある	チーム全員が同じ方向を向いて同じケアができるように努める	細かい事まで情報共有し目標と期間をしっかりと設定し互いに情報等交換していく	6ヶ月
4	29	地域資源との関わりがまだ少なく固定しているところがある	職員みんなが地域資源に関わりが持て馴染みの関係を作る事ができる	幅広く活動範囲を増やし地域資源の開拓を職員みんなで行っていき	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。